

第1回審議会での意見・指摘事項等について

意見・指摘事項等

• これまでの計画の取り組みの中で、やっていること、できているところも大事であるが、できていないところもあるので、どういう市にしたいのか、どんな男女共同参画をしたいのか、なにが課題なのかということを示して、ありたい姿を描いていただきたい。

• 泉大津市の男女共同参画の議論をするにあたって、泉大津市の特性というものを客観的に知ったうえで議論を行っていくことが重要。また、単なる泉大津市と他地域との空間的な比較だけでなく、泉大津市のこれまでと現在というように、時間的な比較もした上で議論を進めていく必要がある。

• アンケートについては平成16年度・平成23年にも行っているため、その時点と比較できる資料を出していただきたい。

• 計画を策定するにあたって、統計的な裏付けがほしい。

• アンケートの数字の結果ではなく、そこからの分析を行うことが重要。

• アンケートだけではなく、その他の必要なデータや資料等（貧困やDVに関するものなど）を出していただきたい。

• 男女共同参画という言葉の定義について、しっかりと共通認識を持った方がよい。

• 泉大津市の最上位計画である総合計画についても、全員で共有しておいたほうがよい。

• 男女共同参画というのは、どの分野にも含まれているものであるため、泉大津市において特に重要テーマは何かという柱を立てて、議論を進めていきたい。

• 赤ちゃんからお年寄りまで全てを対象とするとあまりにも多すぎるため、個人的な意見としては、若い世代の、これから子育てをする方を見据えたところにポイントを持っていけば、それが全体に広がっていくのではないか。

• 若いお母さんたちがどんな社会でありたいとか、どんな地域がよいということを描いてあげられるような、住みやすい場所だと言ってあげられるような泉大津市だったらいいと思う。

• 教育の現場では、男女混合の出席簿になっているなど、10年前から比べればかなり進んでいると思う。しかしながら、小学校や中学校にしても、管理職の女性が少ない。登用について特に差別しているということはないが、本人が希望できないところがあるので、これから希望することができるような環境づくりを行っていくことが必要。

• シングルマザーなどの、生活に不安や悩みを抱える家庭の問題や、その子どもに関する問題というのは、男女の問題であると同時に、人間としての尊厳の問題である。

• にんじんサロンとその隣にあるおやこ広場で、完全に分かれてしまっている。なんとか一緒にできないかと思っていたが、やはりこども未来課と人権市民協働課で縦割りなのかと感じていた。

• にんじんサロンで行っている内容が、若い方からみると、「それではない」というものとなってしまう。

• ハローワークの中の一部として、マザーズコーナーというコーナーをつくっており、その中で子育て中の母親の就職支援をしている。子どもを連れてきても、キッズコーナーで子どもを遊ばせておいて、母親が相談できるようになっている。また、授乳室も設置している。

• 個人的な意見であるが、泉大津市は少し閉鎖的・保守的で、古い考えの男性が多いと思う。私が嫁いできたころの家では男尊女卑を感じた。男性は男性の言い分があるし、女性は女性の言い分があるのだから、足して協力していけば、徐々によくなっていくと期待している。

• 地場産業が家内工業でできる仕事が多いように思ったので、他の地域と違い、女性の地位の向上や、育児や家事の分担はなかなか根付いていないように思う。

• これまではどの市町村も、男女共同参画の推進について、事業所に対しては都道府県レベルではないとできないと聞いていたが、本年、女性活躍推進法が成立し、本計画の中にも女性活躍推進法に基づく推進計画を含むこととなっていることから、事業所に対する取り組みについて考えていかなければならない。

• 男女共同参画というと、庁内のいろいろな部局が関わってくると思うので、庁内の関係各課に、男女共同参画についてのヒアリングを行っていただきたい。